

令和2年4月24日  
学校長 今川 拓

### 男鹿工業高校 部活動等指導体制について

#### [1] 活動方針

##### (1) 活動全般について

- ① 平日の活動は3時間を超えないようにする。
- ② 土曜・日曜・祝日は、4時間を超えないようにする。  
4時間を超える場合は、休憩を1時間程度取ること。
- ③ 冬期間は、平日の活動時間の短縮を心がける。

##### (2) 休養日について

- ① 平日は、週当たり1日以上 of 休養日を設ける。
- ② 週末は、月当たり2日以上 of 休養日を設ける。
- ③ 定期考査1週間前から終了前日までは、原則、活動休止日とする。  
ただし、大会期日が近く、調整等の練習が必要な場合は、管理職に練習時間と場所等を届け出て許可を得ること。
- ④ 学校閉庁日、年末年始は休止日とする。  
ただし、大会期日が近く、調整等の練習が必要な場合は、管理職に練習時間と場所等を届け出て許可を得ること。

#### [2] 留意事項

- (1) 夏季・冬季休業中の活動及び休養日の設定は、[1]の(1)、(2)に準じた扱いとする。長期休業中は、学期中の平常の活動よりある程度の長めの休養期間を設けるように工夫する。
- (2) 週末の大会参加に関しては、原則、月に2大会までの参加とする。
- (3) 週末の練習試合等の活動時間については、生徒や保護者の過度の負担とならないよう配慮する。
- (4) 文化部、同好会についても運動部に準じた扱いとする。
- (5) その他の特別な事情の場合、生徒の体調等に配慮し、校長が判断し許可する。

#### [3] その他、校内確認事項

- (1) 冬季、特に降雪・積雪のある日は、日照時間が短いこと、気象条件、生徒の登下校の安全及び顧問の通勤を考慮して練習時間を設定する。
- (2) 年間を通して、試験前だけでなく日頃の学習時間も確保できるよう設定する。
- (3) 休養日は学校での自主練習はさせないこと。
- (4) 事前に生徒・保護者に練習計画を提示し、練習と休養が円滑に進むようにする。
- (5) 顧問自身の健康にも十分配慮した練習計画で指導に当たる。